

Future Earth 国際シンポジウム

持続可能な地球社会にむけて -京都からの挑戦-

主催： 京都大学 Future Earth 研究推進ユニット

共催： 総合地球環境学研究所 Future Earth アジアセンター

開催日： 2016年12月21日（水）

会場： 京都大学時計台記念館国際ホール I

開催の趣旨：

- ✓ 研究者、市民に Future Earth の研究活動の仕組みや役割に関する理解を深めてもらうこと
- ✓ 京都大学におけるこれまでの Future Earth に関する研究活動の学術的・人的リソースを内外に発信すること
- ✓ Future Earth、特にアジアにおけるこれからの研究の方向性やアプローチについて議論すること

プログラム：

10:00 開会に先だって
河野泰之
京都大学 Future Earth 研究推進ユニット 代表
京都大学東南アジア研究所 所長

10:00-10:15 開会の辞 (15 min)
山極壽一
京都大学 総長

安成哲三
総合地球環境学研究所 所長
Future Earth 科学委員会委員

- 10:15-10:35 **Future Earth-その活動と展望 (20 min)**
春日文子
国立環境研究所特任フェロー/ フューチャー・アース国際事務局
日本ハブ事務局長
- 10:35-11:15 **ギリシャ・エピラス地方における農村放棄と経済劣化の結果からの
示唆 (基調講演) (40 min)**
Sander van der Leeuw
アリゾナ州立大学持続可能性科学部 教授
- 11:15-11:55 **持続可能な地球社会を考えるための環境倫理とは (基調講演)
(40 min)**
Carl Becker
京都大学こころの未来研究センター 教授
- 11:55-12:00 **質疑 (5 min)**
- 12:00-13:30 **昼食 (90 min)**
- 13:30-14:10 **地域再生と生態系再生が両立する流域管理とは？
-マルチスケール・アプローチ- (40 min)**
谷内茂雄
京都大学生態学研究センター准教授
- 14:10-14:50 **流域ガバナンスのための「地域ベースの価値共有」：ハートウェア
アプローチとして (40 min)**
Zeeda Fatimah Mohamad
マラヤ大学理学部 上級講師
- 14:50-15:30 **ボトムアップのフューチャーアースづくり：ICT化する東南アジア
からの発信 (40 min)**
岡本正明

京都大学東南アジア研究所 教授

15:30-15:50 休憩 (20 min)

15:50-16:50 コメントと討議 (60 min)

コメンテーター (候補) :

Dr. Jean-Marie Flaud

フューチャー・アース国際事務局 パリ・ハブ

Prof. Hein Mallee

総合地球環境学研究所

Dr. Rohan D'Souza

京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科

17:00 閉会

大手信人

京都大学情報学研究科 教授